

R5. 10. 2 (月)
第37号
文責：校長 川添
七里小学校

子育て中、特に第一子の時は、初めてのことばかりで不安や悩みが大きいものです。でも、この記事に代表されるように、子どもたちの心の中には、親への感謝の気持ちがしっかりと育まれています。七里っ子に出会って、**がんばっている親の背中を見ながら成長しているな**と感じる毎日です。

学校農園の整備、ありがとうございました！



「運動会が終わったので、そろそろ冬野菜の苗の植え付けや種まきをしたいな。」という 1・2 年生の思いを伝えた次の日、地域学校協働本部の環境整備部長の笹岡誠さんと 4 名の PTA 役員の皆さんが農園に集まり、除草、耕運、畝づくり、マルチ張りまでの作業を一気に行ってくれました。また、畝以外の場所には、今後のことも考え防草シートを張ってくださいました。

ご自身のお仕事でご多用な時期にも関わらず、準備から作業まで快く行ったださり、本当にありがとうございました。おかげで、早速後期の栽培活動をスタートさせることができました。

（※トラクターを巧みに扱う大杉さんの姿を見て、娘の彩月さんが「お父様、かっこいい♡」と、嬉しそうに声をあげていました。）

ちょっと早めだったけれどキクイモの収穫



学校農園の真ん中に、黄色いヒマワリに似た花がたくさん咲いていました。何の花かな？と思っていたら、2 年生が朝陽さんの提案で栽培していたキクイモだったそうです。

キクイモには血糖値の上昇を抑える成分が含まれているということで、メディアでも取り上げられることが増えている話題の野菜のようです。

本来、11 月～12 月が収穫期なのですが、先日、少し早めに掘り起こすことになりました。やはり小ぶりでしたが、子どもたちは大事そうに教室に持ち帰り、「こんなのができていました。」と嬉しそうに見せてくれました。

栽培体験活動は、子どもたちに「食」への興味を持たせる絶好の機会になります。「今度は、〇〇を栽培してみたい」と話を弾ませていた 2 年生でした。

